

大阪大学 図書館報

Vol.37 No.1/2 (2003年9月)

目次

図書館雑感	1
電子図書館への招待	2
教官著作寄贈図書	8
お知らせ	10
会議・日誌	13

図書館雑感

平尾俊一

図書館の存在は大学にとって必須であったが、教育および研究に対するその貢献度合いは時代とともに、大きく変わろうとしている。

まず、教育に関しては、本質的に従来と余り変わりようがないが、教育環境のレベルアップが必要である。予算措置ができるかが問題だが、本を読んだり、勉強するのに適したスペースをできるだけ供給しなければならないと考えられる。もう一つ改善しなければならない点は、本の更新に際しできるだけ最新のものを複数冊購入、導入する方が良い。出版会社は教科書を定期的に改訂することが多いので、このスケジュールに歩調を合わせなければならない。ま

た、教官もアップデートな参考書に関する情報を図書館に流し、教育のための蔵書を充実することが望まれる。両者間のコミュニケーションが重要であり、さもないと教育に対するビジョンが問われるものと思われる。

研究に関しては、高度IT化に伴い図書館の位置づけが大きく変わろうとしている。電子ジャーナルの普及はサイエンスの分野のみならず、多くの分野で目を見張るものがあり、出版事業そのものも変えようとしていることは、ご存知の通りである。日増しにその重要性が高くなっていく。最新の情報は電子ジャーナルのみでしか入手できない状況であり、出版前の情報

まで得られる。図書館としては、この状況に的確に対応しなければならず、また、冊子体との関係をうまく使い分けなければならない。両者は車の両輪の如く、いずれが欠けても問題であり、アナログ的冊子体も必須である。情報源としては、もちろん電子ジャーナルの方がすぐれているが、情報源の保存という意味あいもある。ページをめくるとき、予期せぬ出会いがあり、新しい研究のスタートになるかもしれない。研究室にあれば、つい読むという側面も捨てがたいものがある。さらに、いつでも見たいときに見れる環境、すなわち24時間開館や文献デリバリシステムが今後の冊子体の生き方のポイントである。そうすれば、冊子体の集中管理も可能になると考えられる。電子ジャーナルに関しては、予算的裏づけが必要である。電子ジャーナルの購入は、各部局の冊子体購入に深く関連しているが、高い共通性を考慮すると、共通経費による購入にならざるを得ないのではなからうかと思われる。データベースの充実に関して

も同様なことが言える。電子ジャーナルとデータベースなしでは、文系、理系いずれのジャンルにおいても、研究そのものの展開が困難になりつつあるのが実状である。

社会連携および地域連携については、今後、図書館業務としてその重要性が増すのは当然である。図書館の有する情報を、何らかの方法で、社会や地域へ還元するとともに、産学の連携に情報面から貢献しなければならない。学生のみならず、産業界の人にも使いやすい方策が望まれる。さらに、地域住民や高校生などへ図書館を開放していかなければならない。地域の図書館との連携も重要である。

以上、教育、研究、社会連携、地域連携に関して、ごく当然と思える私見を簡単に述べたが、バリアーは必ずしも低くない。しかし、独立法人化を迎え、これらの問題点を早い時期に解決しなければ、図書館自体の位置づけが問われることになるのではないだろうか。

(ひらお としかず 大学院工学研究科教授 吹田分館長)

電子図書館への招待

PsycoINFO, EconLit

1. はじめに

これまで「電子図書館への招待」として次の内容を掲載してきました。

- (1) Vol.35, no.3 (2002/01) JSTOR
- (2) Vol.35, no.4 (2002/03) Web of Science
- (3) Vol.36, no.1 (2002/06) Science Direct Navigator
- (4) Vol.36, no.2 (2002/09) Medline
- (5) Vol.36, no.3 (2002/12) Nichigai Web
- (6) Vol.36, no.4 (2003/03) 図書館からの情報発信

(6)を除いて、本学で利用可能な個々の電子情報を順次紹介しています。(2)~(4)では自然科学系のデータベースを紹介しましたが、本学では人文・社会科学系の電子情報も提供しています。今回は、その中から2つのデータベースをご紹介します。

2 . PsycINFO

PsycINFO は、American Psychological Association (APA) が作成するデータベースで、心理学関係の文献等を広く収録しています。

- 分野** 心理学、及び、他の関連分野(医学、精神医学、看護学、社会学、教育、薬理学、生理学、宗教、人類学、ビジネス、法律等)のうち心理学的側面を扱ったものが対象です。
- 形態** 雑誌が 1,800 タイトル以上で、文献数で全体の約 77%を占めています。そのうち 98%が査読誌です。650 誌は全記事を収録、24 以上の言語が含まれます。
収録誌一覧 <http://www.apa.org/psycinfo/about/covlist.html>
その他、書籍の章(7%)及び書籍(4%)(以上英語)、レポート類(1%)、学位論文(12%)などを収録しています。学位論文は Dissertation Abstracts International からの抽出です。
- 内容** 書誌情報(タイトル、著者名、掲載雑誌等)
抄録 学位論文では 1995 以降、学位論文以外では 1967 以降収録分のほぼ全件で収録
本文 収録していません。
- 収録状況** 約 200 万件 / 年間増加約 8 万件 最古で 1887 年

PsycINFO の各レコードにおいて、主題・内容については次のように扱われています。

- Descriptors** APA の Thesaurus of Psychological Index Terms で定義された語彙から、実際の論文等にその形の語が出現する / しないに関係なく内容に適した語彙が採用されます。これらはいわゆる統制語彙で、意味(概念)ごとに語彙が決められています。また、広義 / 狭義の階層や関連語彙が定義されています。

本学で PsycINFO を使うための検索システム(SPIRS)では、Thesaurus 機能を使うことにより、定義語彙、広義 / 狭義の階層、関連語彙を調べたり、検索したりすることができます。また項目としては、Major Descriptors(文献の中心概念を表す統制語彙)、Minor Descriptors(文献の中心ではない関連概念を表す統制語彙)の2つに収録されています。Descriptors という項目もありこれを指定すると Major Descriptors と Minor Descriptors を併せて検索します。なお、1967 より前のレコードには収録されていません。

- Key Phrase** 主題を統制語彙でなく自由語(フリーターム)で記述したものです。SPIRS での項目名は Key Concepts

Classification Code

4 桁の数字からなる主題分類コードとその文字表現が収録されています。桁で主題の階層を表しています。

SPIRS では 4 桁を指定して特定分類を検索するほかに、上位 2 桁を指定することで上位 2 桁が同じ全ての分類を併せて検索することができます。

コード一覧 <http://www.apa.org/psycinfo/about/classcodes.html>

Population Group

population に関連する記述がある文献に次の6つのうちいずれかの形で入力されて

います。複数に該当する場合は複数入力されます。

Human / Animal / Male / Female / Inpatient / Outpatient

文献の主題が population に関するものでなくても記述があれば収録します。1998 以降のレコードに収録。それ以前のレコードにはほとんど収録されていません。

Age Group 人間の年齢に関する記述がある論文に年代別グループが決められた形で入力されています。3つの大分類(Childhood、Adolescence、Adulthood)とその細分があります。1967 以降のレコードに収録されていますが、時期によりグループの区分が異なる部分があります。

グループ一覧 <http://www.apa.org/psycinfo/training/tips-age.html>

その他、項目についての簡単な補足説明をします。

Author 複数著者の場合の収録方法が年代によって異なります。

1996 以降 全著者

1987 - 1995 5人以上の場合最初の4人

1967 - 1986 4人以内は全著者、5人以上の場合は最初の1人

1966 以前 情報源での記載の異なりにより不統一

Title 1982 以降の雑誌記事について、英語以外のローマ字言語のタイトルは原語及び英語の両方のタイトルを収録

Language 1971 年より前に処理されたレコードでは、英語以外の場合には「非英語」(NonEnglish)を表すだけで実際の言語は収録されていない。

この他の項目や上記項目の詳細については、APA の WWW サイト(<http://www.apa.org/>)に掲載されています。また、SPIRS 内のデータベース説明などもご参照下さい。

3 . EconLit

EconLit は、American Economic Association(AEA)が作成するデータベースで、経済学関係の文献等を広く収録しています。

分野 経済学

形態 <雑誌> 経済関係の750誌以上を収録対象とします。3%以下の例外を除いて英語文献もしくは英語抄録付きです。文献数で全体の約63%を占めています。

<書籍> 経済関係の内容を含む60ページ以上の書籍を対象とします。"Journal of Economic Literature"(JEL)の "Annotated Listing of New Books" に対応しています。JEL 1987 以降を収録しています。

<論文集等> 論文集、著作集、proceedings などに含まれる文献等を収録しています。文献数で全体の約24%を占めています。

<学位論文> 1987 以降を収録しています。内容は各学位授与機関から AEA に提供されたものです。

<Working papers> Cambridge University Press の "Abstracts of Working Papers

in Economics" (AWPE) の 1984 以降を収録しています。

<書籍レビュー> JEL 掲載の書籍レビューの全文を 1994 以降収録しています。タイトルと ISBN はレビュー対象書籍の情報を収め、他の項目はレビュー自体についての情報を収めています。

内容 書誌情報(タイトル、著者名、掲載雑誌等)

抄録 雑誌では 1987 - 1989 が論文の約 3 分の 1 に、1989 以降はほぼ全件に収録。書籍では 1987 以降に、学位論文では 2002 以降に収録。論文集等については収録していません。なお、各レコードの抄録の有無は Abstract Indicator 項目が "yes" か "no" かで識別できます。

本文 書籍レビューのみ収録

収録状況 60 万件以上 / 年間増加 26,000 件以上 最古で 1969 年

EconLit の各レコードにおいて、主題・内容については次のように扱われています。

Subject Descriptors

主題を表す統制された記号及び文字表現です。階層化されています。JEL 分類(American Economic Association(AEA) Classification System としても知られる)に基いていますが、次の違いがあります。

- ・ EconLit ではコードは末尾に 0 を補って 4 桁化されます。例: JEL 分類の "A11" は "A110"、"A2" は "A200" となる。
- ・ 文字表現において JEL 分類での表現に上位の語を補完する場合があります。例: JEL 分類の N16 は "Latin America; Caribbean" であるが、EconLit の N160 は "Economic-History-Macroeconomics; Growth-and-Fluctuations-Latin-America; Caribbean" であり、JEL 分類の上位 "N" 及び "N1" を含んだ形になる。

Subject Descriptors http://www.econlit.org/subject_descriptors.html

JEL 分類 <http://www.aeaweb.org/journal/elclasjn.html>

1969 ~ 1990 のレコードには "Index of Economic Articles" で使われていた旧体系の JEL 分類(コードは数字形)を収録しています。1991 ~ 1999 のレコードには、新旧両体系の分類を含んでいます。

書籍、書籍レビュー、学位論文では 1991 以前は上位レベルの分類しか収録していません。

Keyword Descriptors

1991 以降のレコードには主題を表現したキーワードが Subject Descriptors と同じ項目に収録されています。これは AEA 分類の文字表現から抽出された統制語彙の中から各レコードの内容に適したものを付与したものです。

Named Persons

記事の主題とされた人物、もしくはレビュー対象著作の著者の人名が収録されています。

Geographic Descriptors

国や地域に関する記述がある記事に地理区分が入力されています。多くは United Kingdom のように地名をフルスペルで記述しています。CMEA、OECD、OPEC などの省略形も使われます。

その他、項目についての簡単な補足説明をします。

Author 著者は最初の3人までを収録しています。

Author Affiliation

雑誌記事では 1990 以降収録。論文集等では 1988 以降収録。頻出語について省略形が使われています。(例: University を U)

Document Type

次の6つの形で入力されています。

book / book-review / collective-volume-article / dissertation / journal-article / working-paper

International Standard Serial Number (ISSN)

中央のハイフンを含めた形で収録されており、検索時もハイフンが必要です。

ISBN については、SPIRS の説明ではハイフンが必要となっていますが、実際にはハイフン無しで収録されています。

4 . 利用方法

PsycINFO、EconLit は共に、図書館(本館、生命科学分館、吹田分館)内の端末からは無料で利用できます。研究室などから利用する場合は有料で、事前に登録などの手続きが必要です。

(<http://wsv.library.osaka-u.ac.jp/others/gakujutu.htm> 参照)

両データベースとも、様々なシステムを通して提供されていますが、本学では SilverPlatter の検索システム(SPIRS SilverPlatter's Information Retrieval System)から利用することになります。PsycINFO について APA が用意した比較表によれば他のシステムに比べて利用できる機能が多いシステムです。

検索上の注意

SPIRSには特別なソフトウェアのインストールなしにWWWから利用できるWebSPIRSがあります。この他、ソフトウェアをインストールして使うWinSPIRS(Windows用)、MacSPIRS(Macintosh用)があります。

WebSPIRSの一般的な操作方法は、WebSPIRS内のTutorialやHELPで調べられます。また紀伊國屋書店のWWWサイトにも説明があります。

<http://webspirs.kinokuniya.co.jp/webspirs42/toc.html>

以下では、ポイントを説明します。

データベースの選択

PsycINFO、EconLitは収録年に基づいて分割されています。(原稿執筆時点で PsycINFO は19個、EconLitは2個) 複数を選択することで一括して検索することもできます。

Free Text Index(General Index)による検索

検索対象となる各項目は大別して limit項目と 非limit項目に分けられます。非limit項目はいわば通常の項目で、ここに含む語からFree Text Index(WebSPIRSではGeneral Indexと呼ぶ)が作られます。項目略称による限定なしに検索語を指定するとここから検索されます。

また、この索引語は一覧表示することができ、そこから選択して検索するなどの機能があります。

項目一覧は、WebSPIRSのDatabase Information等に記載されています。

Limit項目による検索

limit項目は名前のとおり、単独で使うよりも他の検索条件と併せて使うことにより検索結果を限定することに使います。PsycINFOでは Age Group、Document Type、Language、Populationなどが、EconLitでは Document Type、Publication Yearなどがlimit項目です。

limit項目で検索する場合は、次のいずれかの形で指定します。

項目略称 = 検索語 もしくは **検索語 in 項目略称**

例: AG=adulthood もしくは adulthood in AG (AGはAge Group項目の略称)

また値が数であるlimit項目では < > <= => により範囲指定が可能です。

例: PY < 1990 (PYはPublication Year項目の略称)

各項目の略称は、WebSPIRSのDatabase Information等に記載されています。

Field-Specific Indexによる検索

limit項目、非limit項目にかかわらず幾つかの項目からは、Field-Specific Indexが作成されます。この索引語も一覧表示することができ、そこから選択して検索するなどの機能があります。これにより、ある特定項目に出現した索引語を調べることができます。主題からの検索の際に統制語を含む項目の索引語から検索することにより、より主題に適合した文献の検索が可能となります。

(文責:情報サービス課・大西直樹)

教官著作寄贈図書

(2003.3～8)

本館	
徂徠 道夫 (理、教授)	学生のための化学実験安全ガイド / 徂徠道夫ほか著 東京：東京化学同人, 2003
核物理研究センター	Nuclear many-body and medium effects in nuclear interactions and reactions : proceedings of the Kyudai-RCNP International Symposium : Fukuoka, Japan, October 2002 / edited by K. Hatanaka ... [et al.]. Singapore : World Scientific, c2003
紀ノ岡正博 (基工、助教授)	再生医療実用化に向けた生物工学研究 : 米英および国内生物工学者の活動 / 日本生物工学会セル&ティッシュエンジニアリング研究会編 名古屋：三恵社, 2003
湯浅邦弘 (文、教授)	電子懐徳堂考 / 湯浅邦弘編 豊中：大阪大学大学院文学研究科, 2003 CD-ROM 1 枚
言語文化部・言語文化研究科	言語文化共同研究プロジェクト / 大阪大学言語文化部, 大阪大学大学院言語文化研究科編. [豊中]: 大阪大学言語文化部: 大阪大学大学院言語文化研究科, 2003 シリーズ18冊
奥 建夫 (産研、助教授)	Art and science of healing : harmony of body, mind and spirit = 癒しの芸術と科学 : 身体・心・魂の調和 / アルラチベット医学センター著 名古屋：三恵社, 2003 (生命科学分館にも寄贈)
待鳥 聡史 (法、助教授)	財政再建と民主主義 : アメリカ連邦議会の予算編成改革分析 / 待鳥聡史著 東京：有斐閣, 2003
伊賀上 菜穂 (言文、助手)	前近代における日露交流資料の研究 / 研究代表者 平川新 [仙台]: 東北大学東北アジア研究センター, 2003 ポスト社会主義圏における民族・地域社会の構造変動に関する人類学的研究 : 民族誌記述と社会モデル構築のための方法論的・比較論的考察 吹田：国立民族学博物館民族学研究開発センター, 2003
中林 真幸 (経済、助教授)	近代資本主義の組織 : 製糸業の発展における取引の統治と生産の構造 / 中林真幸著 東京：東京大学出版会, 2003
小林 茂 (文、教授)	農耕・景観・災害 : 琉球列島の環境史 / 小林茂著 東京：第一書房, 2003

菅野 盾樹 (人科、教授)	新修辞学：反「哲学的」考察 / 菅野盾樹著 横浜：世織書房, 2003
大高 順雄 (名誉教授)	Le roman d'Alexandre en prose : British Library, Royal 15. E. VI, fol. 2v-24v / publie par Yorio Otaka, Hideka Fukui et Christine Ferlampin-Acher ; avec une preface de Philippe Menard. Osaka : Centre de la Recherche Interculturelle a l'Universite Otemae, 2003
生命科学分館	
河村洋二郎 (名誉教授)	口のはたらき：口腔機能の重要性 / 河村洋二郎[ビデオ(カセット)](DENTAL EDUCATION VIDEO CASSETTE ; 249 . 生涯研修ライブラリー ; 平成 14 年度) 東京：学習研究社, [2002] ビデオテープ及びデジタルビデオ CD-ROM
吹田分館	
奈賀 正明 (接合研、教授)	Designing of interfacial structures in advanced materials and their joints : DIS'02 : proceeding of the international conference on designing of interfacial structures in advanced materials and their joints, Osaka Japan, 26-28, Nov. 2002 / ed. by Masaaki Naka. Osaka : Joining and Welding Research Institute of Osaka University, 2002
小松 満男 (工、教授)	The Chemical Society of Japan : a 125-year quest for excellence : 1878-2003 Tokyo : Chemical Society of Japan, c2003
高木 健 (工、助教授)	実践浮体の流体力学 / 日本造船学会海洋工学委員会性能部会編 東京：成山堂書店, 2003 前編：動揺問題の数値計算法 後編：実験と解析
松本 正行 (工、助教授)	Optical solitons in fibers / A. Hasegawa, M. Matsumoto (Springer series in photonics ; 9) 3rd, rev. and enl. ed Berlin : Springer, 2003
山下 光雄 (工、助教授)	タンパク質ハンドブック / Gary Walsh 著 ; 平山令明 [ほか]共訳 東京：丸善, 2003 (本館・生命科学分館にも寄贈)

(敬称略:受付順)

お知らせ

大型寄贈図書目録処理が終了

一昨年及び昨年度発行の当図書館報で紹介をしました次の大型寄贈図書について、この程目録処理がほぼ終了いたしました。

OPAC(オンライン目録)で検索できます。

(1)「竹友文庫(第2期)」と「藤井文庫」
(図書館報 Vol.35, No.4, Mar.2002 に掲載--文学研究科、玉井暉教授ご紹介--)

主に英文学関係と竹友藻風先生のご蔵書などです。図書の配架は通常の資料と同様で、分類番号により本館書庫の各階に混配されていて、自由にご利用になれます。(「竹友文庫」の一部は貴重図書扱いで書庫6階の貴重図書コーナーに配架しています。)

(2)「國本文庫」
(Vol.36, No.3, 2002年12月に掲載 --藤本和貴夫名誉教授ご紹介--)

故國本哲男名誉教授(言語文化部ロシア語教育講座)のご蔵書であった、ロシア・スラヴの

歴史と文学に関する図書です。この図書は本館書庫の6階、エレベータ近くの書架に「國本文庫コーナー」としてまとめて配架しています。自由にご利用になれます。

背ラベルに“KUNIMOTO”と付記し、受入れ番号順に並んでいます。OPACで番号をご確認の上ご利用下さい。

(3)「日本紡績協会資料」
(Vol.36, No.4, 2003年3月に掲載 --経済研究科、阿部武司教授ご紹介--)

国内外の近代史資料で同協会の貴重な文献コレクション約3万点は、前にもお知らせしましたように、本館書庫6階奥の貴重図書コーナー内、「日本紡績協会資料コーナー」に配架しています。

背ラベルに“BOSEKI”と付記して、これも受入れ番号順に並んでいます。ご利用には、OPACで番号をご確認の上メインカウンターにお申し出ください。

平成15年度いちょう祭展示会および図書館施設公開

いちょう祭行事の一環として、4月29日(祭日)と5月1日(大学創立記念日)の両日、図書館A棟6階ホールにおいて文・法・経3学部・研究科と図書館の共催の展示会を開催しました。あわせて図書館A棟の施設公開を開催し、延べ556名の参加者がありました。



本館で授業休業期の開館時間延長と土日開館の試行

これまで、7月のみ実施していた授業休業期の開館時間延長を、今年度より全休業期間(春季・夏季・冬季)をとおして19時まで延長し、

併せて授業休業期の土・日開館を開始しました。今年度は試行ですが来年度より利用実績を見た上で本実施する予定です。

生命科学分館で利用サービスを拡大

(1) 個席・グループ研究室・ラーニング・リソースセンター

平成15年8月1日より、下記のように、利用時間を延長しました。

平日 : 9時～20時45分

土・日 : 9時～16時45分

その他、個室については、利用目的の緩和、利

用期間の延長、グループ研究室については、利用目的の緩和、及び教官を利用責任者とする承認手続きが廃止になりました。

(2) 平成15年度8月期間中の開館時間について通常期間同様、平日につき21時まで開館しました。

吹田分館で授業休業期の日曜開館を試行

今年度から、かねてより要望のありました授業休業期の日曜開館を実施しています。開館時間、サービス内容は通常期の日曜開館と同じです。

なお、今年度は試行としていますが、来年度からは本実施とする予定です。

附属図書館(本館)で利用者アンケート調査実施

附属図書館(本館)では、利用者サービスの改善を図る上での基礎的データ収集のために、平成15年7月9日～7月18日にかけて、来館者を対象にアンケート調査を実施しました。

調査にご協力頂いた方々にお礼申し上げます。

アンケート回収枚数は813枚で、回答者の内訳は学部学生と大学院生を合わせて93%余り、その他が研究員、教職員等となっています。調

査結果の詳細につきましては、次号に掲載する予定です。

今後は、このアンケート調査に反映された利用者の意見を参考に、サービスの改善を図って行きたいと考えます。なお、研究者等に対しては別途アンケート調査を行うことを計画しています。

吹田分館のバリアフリー・エレベータ竣工

図書館吹田分館旧館のバリアフリー化工事については、館報の36巻3号でも概要や進捗状況をお知らせしていましたが、このたびエレベータと昇降機(段差解消機)が完成し、6月から運用を開始しました。

このエレベータは<スクリー式エレベータ>と言い、図1のようにエレベータかご上部のモータを動力としてスクリー(螺旋ねじ)により昇降する構造で、もともとは駅のバリアフリー化を目的に開発された低コスト・省スペース型エレベータです。通常のロープ式や油圧式のものに比べ、吹田分館旧館のように耐震構造上の制約やスペース、コストなどに問題がある既設の建物でも設置が容易にできるという特徴があります。屋上の機械室が不要で、地下のピットも深さ15cmで済みます。そのため現場の工事期間がかなり短縮できます。また、かごの内部には出入口が2つあり、車椅子の利用者もかご内で方向転換せずに乗り込んだ向きのまま降りることができます。ただ、上記の構造上、昇降速度が毎分30mとやや遅く、かご内でモータとスクリーの騒音が若干聞こえます。

エレベータ棟(シャフト)は旧館の建物とは独立して建っており、玄関ピロティ北側が地上階(G階)の出入口になります(図2参照)。車椅子の場合そこから1階まで昇り、フロアを通過して昇降機(図3)で約1mあがると、入館ゲートとカウンターにアクセスできます。2階部分は現在止まりません。3階からは視聴覚ホールに行くことができます。これまで階段しかなく利用者に不便をおかけしていましたが、視聴覚ホールの利用がたいへん便利になりました。

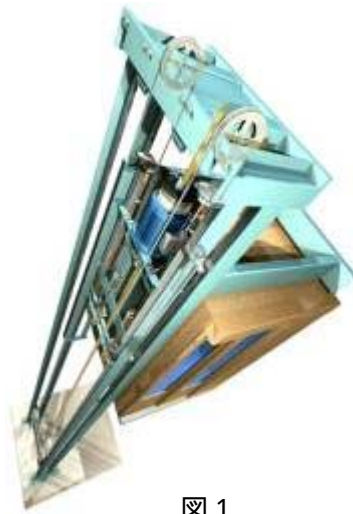


図1



図2



図3

会 議

平成14年度第3回学術雑誌専門委員会 3.5(水)10:00～12:20

- 1.平成15年度電子ジャーナル経費の部局負担方式の決定について、協議した
- 2.平成15年度電子ジャーナル追加タイトルの選定について、協議した。
- 3.平成16年度以降の電子ジャーナル導入の方針について、協議した。

図書館委員会 3.14(金)10:00～11:56

- 1.平成15年度事業費予算要求案を承認した。
- 2.平成16年度新規概算要求案を承認した。
- 3.平成15年度データベース検索システムの料金について、協議した。
- 4.平成15年度研究開発室室員の推薦について、審議した。
- 5.大阪大学情報公開委員会委員を選出した。
- 6.電子ジャーナル経費の部局負担方式(案)について、協議した。
- 7.附属図書館の中期目標・中期計画(案)について、協議した。

平成15年度第1回学術雑誌専門委員会 5.2(金)17:30～19:15

- 1.委員長の選出について、協議した。
- 2.平成16年度電子ジャーナル導入の方針について、協議した。

平成15年度第2回学術雑誌専門委員会 6.23(金)17:00～18:07

- 1.平成16年度以降の電子ジャーナル経費確保の方針について、協議した。
- 2.学術情報アクセスの改善策について、協議した。

図書館委員会 7.23(水)10:00～11:47

- 1.平成15年度予算配分案を承認した。
- 2.平成16年度以降の電子ジャーナル経費確保の方針について、協議した。
- 3.次期附属図書館長候補者の選考日程について、協議した。
- 4.法人化後の図書館委員会のあり方について、協議した。

吹田地区運営委員会 7.24(木)10:00～12:20

- 1.平成15年度吹田分館図書資料費等予算執行計画について協議した。
- 2.吹田分館備付新聞・和雑誌の購入について協議した。
- 3.平成16年度外国雑誌重複調整について協議した。
- 4.部局返却重複雑誌の不用決定手続きについて協議した。

生命科学分館運営会議 7.28(月) 14:30～15:30

- 1.平成16年度生命科学分館購入雑誌選定について、協議した。
- 2.平成15年度生命科学分館備付学生用図書及び視聴覚資料の選定について、協議した。
- 3.製本費の予算配分について、協議した。
- 4.個席、グル- プ研究室、ラ- ニング・リソ- ス・センタ- の各利用要項について、協議した。

目 誌

H 1 5 .	3 . 4	第 8 3 回近畿地区医学図書館協議会例会	(神戸大学)
	3 . 5	平成 1 4 年度第 3 回学術雑誌専門委員会	(本館)
	3 . 1 4	図書館委員会	(本館)
	5 . 2	平成 1 5 年度第 1 回学術雑誌専門委員会	(本館)
	5 . 2 8	国立大学附属図書館事務部課長会議	(東京医科歯科大学)
	5 . 2 9	国立大学図書館協議会賞受賞者選考委員会	(東京大学)
		国立大学図書館協議会著作権特別委員会	(東京大学)
		国立大学図書館協議会図書館高度情報化特別委員会	(東京大学)
		国立大学図書館協議会常務理事会	(東京大学)
		外国雑誌センター館幹事会	(東京大学)
	5 . 3 0	国立大学図書館協議会理事会	(東京大学)
	6 . 1 3	第 7 2 回近畿地区国公立大学図書館協議会	(大阪府立看護大学)
	6 . 2 3	平成 1 5 年度第 2 回学術雑誌専門委員会	(本館)
	6 . 2 4	近畿地区医学図書館協議会例会	(兵庫医科大学)
	6 . 2 5 ~ 2 6	国立大学図書館協議会第 5 0 回記念総会	(埼玉大学)
	6 . 2 7	外国雑誌センター館会議	(東京大学)
	7 . 2 2	近畿地区国立大学図書館協議会部課長会議	(京都大学)
	7 . 2 3	図書館委員会	(本館)
	7 . 2 4	吹田地区運営委員会	(吹田分館)
	7 . 2 8	生命科学分館運営委員会	生命科学分館)

大阪大学図書館報 Vol. 3 7 No. 1/2 通巻
発行所 大阪大学附属図書館

1 4 7 号 2 0 0 3 年 9 月 3 0 日 発行
豊中市待兼山町 1 の 4 0 6(6850)5070
e-mail : sanko-honkan@library.osaka-u.ac.jp